

令和4年度第1回（第39回）魚沼市地域公共交通協議会 議事要旨

日 時	令和4年6月27日（月） 13:30 ～ 15:40
場 所	魚沼市役所本庁舎 議会会議室
出席委員	22名（うち代理出席6名） ※別紙、出席者名簿のとおり
欠席委員	3名
事務局	6名
傍聴者	0名
会議次第	<p>1 開 会</p> <p>2 開会あいさつ</p> <p>3 報 告</p> <p>(1) 令和3年度魚沼市乗合タクシーの運行実績について（資料1）</p> <p>(2) 令和3年度入広瀬コミュニティバスの運行実績について（資料2）</p> <p>(3) 乗合バス「小出一魚沼基幹病院経由一六日町線」実証運行（上半期）について（資料3）</p> <p>(4) その他</p> <p>4 議 事</p> <p>(1) 令和3年度協議会事業報告及び決算について（資料4）</p> <p>(2) 生活交通確保維持改善計画（フィーダー系統）（案）について（資料5）</p> <p>(3) 自家用有償旅客運送の更新登録の申請（案）について（資料6）</p> <p>(4) その他</p> <p>5 その他</p> <p>6 閉 会</p>
会議結果	（継続審議）議事(3)自家用有償旅客運送の更新登録の申請（案）について（承認）上記以外
会議概要	下記のとおり（要点記録）

1 開 会

事務局	<p>ご案内のとおり、本日は令和3年度の実績報告関係、令和5年度生活交通確保維持改善計画、自家用有償旅客運送更新登録申請等について、協議をお願いしたい。</p> <p>定刻前であるが、各委員おそろいになったので、ただいまから令和4年度第1回魚沼市地域公共交通協議会を開会する。</p> <p>はじめに、内田市長がご挨拶申し上げます。</p>
-----	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2 開会あいさつ

内田会長 （魚沼市長）	<p>本日は、今年度第1回目の会議ということであり、4月の異動等で13名の委員が交代された。この25名で1年間、会を運営していきたいと考えているので、どうぞよろしくをお願いしたい。</p> <p>新型コロナウイルス感染症については、なかなか収束の見通しが立たない中で、市内においても連日感染者が確認され、特に若い方への感染が続いている</p>
----------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>ことへの警戒感を強めている。</p> <p>交通事業者の皆さんはもちろんだが、お集まりの皆様方においても、それぞれの立場で感染症対策の徹底をお願いしたい。</p> <p>本市では、60歳以上の方などを対象とした4回目のワクチン集団接種の受付を開始しており、9月末をめどに希望する方全員の接種が完了する予定となっている。</p> <p>本日の会議については、生活交通確保維持改善計画や入広瀬コミュニティバスに係る自家用有償旅客運送の更新登録申請など、協議事項が3件、報告事項が3件提案されている。限られた時間ではあるが、皆さん方から忌憚のないご意見とともに、慎重な審議をよろしくをお願いしたい。</p>
--	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

～ 委員 自己紹介 ～

3 報 告

(1) 令和3年度魚沼市乗合タクシーの運行実績について

事務局	《令和3年度魚沼市乗合タクシーの運行実績について（資料1）説明》
内田会長 （魚沼市長）	質疑はないか。
宮腰委員 （長岡工業 高等専門学校）	湯之谷地区については幹線を路線バスが走っていることもあり、乗合タクシーの運行本数が少なく、昨年度の協議会においても事業者間の調整等が必要ではといった話題が上がったが、その後進展はあったか。
事務局	現時点で、今後の方針をお示しできる材料は持ち合わせていない。湯之谷地域に限らず、利用者数の減少が顕著な守門地域などについて、まずは関係者のご意見を聞かせていただきながら、検討作業に着手した段階である。
宮腰委員 （長岡工業 高等専門学校）	他の自治体でも、同様に異業種の事業者が並行運行している事例はみられる。湯之谷地域については、自家用車以外の交通利便性が低下している印象を受けるので、課題はあるであろうが、現状に配慮をお願いしたい。
事務局	路線バス事業者との調整についても、今後検討したい。
富永委員 （小出干溝 区連自治会）	資料16ページの運行率とは何か。
事務局	乗合タクシーは基本的に予約制であり、計画便数に対し、予約を受けるなどして実際に運行した便数の割合を示したものである。

内田会長 (魚沼市長)	ほかに質疑がないようであれば、ただいまの質問を踏まえ、承認することで異議はないか。
委員一同	異議なし【承認】

(2) 令和3年度入広瀬コミュニティバスの運行実績について

浅井委員 (入広瀬コミュニティ協議会)	《令和3年度入広瀬コミュニティバスの運行実績について(資料2)説明》
内田会長 (魚沼市長)	質疑はないか。
小島委員 (魚沼市タクシー協会)	<ul style="list-style-type: none"> ・魚沼市補助金456万6,000円の交付基準はあるのか。 ・運転員に係る費用の計上費目はどこか。 ・運転員賃金の時給はいくらか。 ・補助事業にもかかわらず、100万円を超える高額な繰越金が生じていることに対する市の見解は。 ・自主財源の内訳は何か。
事務局	<p>事務局の方で回答させていただく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金の交付基準については、運転員の時間単価に運行時間や車両台数を掛け合わせて算出した運行費用、事務員賃金、加えて燃料費や修繕費といった車両経費、その他事務費等を補助対象経費としている。 ・運転員及び事務員に係る費用は、全額賃金に計上してある。 ・賃金の時間単価については、シルバー人材センターの賃金単価を参考に、令和3年度は1,150円で算定している。なお、事務員賃金については、協定により、運転員の年間勤務時間の2分の1を上限と定めている。 ・繰越金の増額については、令和3年度に発覚した市職員の公金外現金横領事件により、使途不明であった過年度分約92万円の返還金があったことから、会計処理上一時的に増加したものである。 ・自主財源については、会員の年会費、地元企業等からの協賛金である。 ・その他詳細については、現在資料を持ち合わせていないため、整理した上で改めて報告させていただく。
浅井委員 (入広瀬コミュニティ協議会)	補足させていただくが、自主財源の年会費については、コミュニティバスの利用者はもちろんのこと、バスには乗らないけれども、地域内の共助のために年会費だけ納めてくれたり、個人や市外在住の方の中にも、主旨に賛同して協賛金という形でご協力いただいている方もいる。
小島委員 (魚沼市タクシー協会)	<ul style="list-style-type: none"> ・1世帯2,000円の年会費については、いわゆる運賃とみなすべきもので、その充当先となる経費に係る補助分、単独分の区分の仕方にも少し疑問を感じる。 ・使途不明金の存在については、これまでの会議で1度も触れられてこなかったし、報告がなかった。

<p>内田会長 (魚沼市長)</p> <p>委員一同</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金の算定方法については、適切な対応を願いたい。事業に係る不足分を補うのが補助金の趣旨であるはずなので、全体経費を単独分と補助分に分け、その一方のみで精算するというのはいかがなものか。加えて、多額な繰越金が生じるような交付方法は是正すべきと思う。 ・事務員賃金も含め、時間単価についてはタクシー運転手よりやや高いように思う。 ・コミュニティバスの運行に関しては、当初タクシー事業者の半分の経費で運行できるという説明を受けた中で、本協議会で認めてきた経緯がある。しかしながら、人件費は増加傾向にあり、令和3年度については1時間当たりの運行単価が4,870円と、タクシー会社に設定された乗合タクシーの運行単価4,510円よりも、今や高額となっている状況である。このまま青天井に運行経費が増加するようでは、当初の合意内容が反故にされた感が否めない。 ・タクシー会社が運行している乗合タクシーは、ジャンボタクシーの認可運賃の半額に満たない単価で運行しており、2020年の運賃改定についてなど個別に市と折衝しているところであるが、我々協会としては、経営努力しながら地域交通の運行を維持している状況も理解願いたい。 ・協議会の構成メンバーも変わられているが、これら過去の経緯を踏まえた中で今の現状があるということ、委員各位から承知いただきたい。 <p>今ほどの質疑のあった年会費の取扱い、補助金交付基準などについては、事務局で再度整理した上で改めて報告をお願いします。</p> <p>ほかに質疑がないようであれば、ただいまの質問を踏まえ、承認することで異議はないか。</p> <p>異議なし【承認】</p>
------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(3) 乗合バス「小出－魚沼基幹病院経由－六日町線」実証運行（上半期）について

事務局	《乗合バス「小出－魚沼基幹病院経由－六日町線」実証運行（上半期）について（資料3）説明》
内田会長 (魚沼市長)	質疑はないか。
井口委員 (魚沼市自立支援協議会)	<p>まずは、魚沼基幹病経由のバス運行を開始していただいたことに感謝申し上げます。</p> <p>1年間の実証運行ということで、我々利用者の立場としても周知に励んでいるところではあるが、まだまだ広報が不足しており、市民へ浸透していないような印象を受けるので、引き続き積極的な宣伝活動をお願いしたい。</p> <p>また、少数かもしれないが、患者によっては長時間の診療を要する場合もあると思うので、時刻表や便数など考慮していただいた中で、実証運行終了後についても運行継続されるよう努力をお願いしたい。</p>
事務局	広報については足りない部分もあるように思うので、今後も力を入れて取り組んでいきたい。

	<p>路線の維持については市も同じ思いであるので、引き続き沿線の南魚沼市と協議を詰めていながら、こういった形で運行を維持していくのか改めてお示ししたい。</p> <p>時刻表に関しては、運行事業者である武藤代理から意見を頂戴できればありがたい。</p>
武藤代理 (南越後観光バス株式会社)	<p>魚沼基幹病院への乗り入れについては、現在実証運行中の六日町線のほかにもう1系統、魚沼市役所前発着で干溝荒金方面を経由する浦佐線が、1日3.5往復の運行を行っている。</p> <p>六日町線の時刻表を直ちに変更するのは難しいため、浦佐線に14時35分と17時5分に魚沼方面へ向けて魚沼基幹病院を発車する便があるので、こちらも併用した利用をお願いできればと思う。</p>
内田会長 (魚沼市長)	<p>2系統の併用も含め、事務局からはしっかりとした広報を引き続きお願いする。</p>
小島委員 (魚沼市タクシー協会)	<p>魚沼基幹病院の帰りにタクシーを利用された方からよく耳にするのは、やはり帰りのバスの便数が少ないと。お帰りの際に不便を感じている方が多くいるようなので、それらを踏まえて検討してはいかがか。</p>
事務局	<p>参考にさせていただく。</p>
内田会長 (魚沼市長)	<p>ほかに質疑がないようであれば、ただいまの質問を踏まえ、承認することで異議はないか。</p>
委員一同	<p>異議なし【承認】</p>

(4) その他

事務局	<p>《以下について概要報告》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乗合タクシー利用促進月間の実施について ・JR只見線のトンネル保守工事に伴う運休について ・JR只見線の全線運転再開について
内田会長 (魚沼市長)	<p>質疑はないか。</p>
宮腰委員 (長岡工業高等専門学校)	<p>運賃無料の乗合タクシーの利用促進月間について、単なる乗車の有無だけでなく、利用者のニーズ調査など統計データを取って今後を活用してみてはどうか。</p>
事務局	<p>利用促進月間の実施に際しては、各関係方面へ働き掛けを行っている中で、現在は集落支援員からご尽力いただくなどして、各地域のコミュニティ協議会などへのPR活動に努めているところである。</p> <p>また、集落支援員や民生児童委員協議会が自発的にアンケート調査を実施、結果を情報提供してくださることから、これらの意向も踏まえた形で今後の施策に反映させていくことができると考えている。</p>

小島委員 (魚沼市タクシー協会)	<p>昨年の利用促進月間では、各地域の老人会や団体など多くの方からお試し利用いただき大変ありがたかったが、1回の利用で20人規模の予約が入り、配車に苦慮した経験がある。</p> <p>通常の運行に支障を来す場合もあるので、可能な限り対処したいとは考えているが、大所帯でご利用いただく際は、少人数を数回に分けて予約していただくとありがたい。</p>
---------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

4 議 事

(1) 令和3年度協議会事業報告及び決算について

事務局	《令和3年度協議会事業報告及び決算について(資料4)説明》
内田会長 (魚沼市長)	続いて、監査員の上村委員から代表して監査結果の報告をいただく。
上村委員 (堀之内連合区長会)	<p>令和4年6月15日、魚沼市役所本庁舎にて、星監査員と2人で会計監査を行った。</p> <p>関係諸帳簿及び証拠書類によって監査した結果、出納及び帳簿類は適正であり、現金及び預金は相違ないと認める。</p>
内田会長 (魚沼市長)	<p>質疑はないか。</p> <p>ないようであれば、承認することで異議はないか。</p>
委員一同	異議なし【承認】

(2) 生活交通確保維持改善計画(フィーダー系統)(案)について

事務局	《生活交通確保維持改善計画(フィーダー系統)(案)について(資料5)説明》
内田会長 (魚沼市長)	<p>質疑はないか。</p> <p>ないようであれば、国土交通省の審査の段階で軽微な修正が生じる場合があることも踏まえ、承認することで異議はないか。</p>
委員一同	異議なし【承認】

(3) 自家用有償旅客運送の更新登録の申請(案)について

事務局	《自家用有償旅客運送の更新登録の申請(案)について(資料6)説明》
内田会長 (魚沼市長)	質疑はないか。
小島委員 (魚沼市タクシー協会)	先ほどの運行実績報告の際にも申し上げたが、コミュニティバスの運行に関しては、当初タクシー事業者の半分の経費で運行できるという説明を受けた中で、協議会で公共交通空白地有償運送を認めてきた。

事務局	<p>しかしながら、蓋を開けてみれば、近年は乗合タクシーよりも高額な運行単価となっているこの状況で、とても更新登録の申請は認められない。</p> <p>小島委員の意見に対し、事務局として腹案を持ち合わせていない。</p> <p>先の運行実績報告の際にお答えできなかった部分があることは認めつつも、今回の更新登録申請に関し、どのように折り合いをつけたらよろしいか、委員各位の意見を頂戴できないか。</p>
小島委員 (魚沼市タクシー協会)	<p>発端は、コミュニティ協議会活性化の目玉事業として、コミュニティバスを運行させたいとの話だった。</p> <p>そのためには、公共交通空白地としての自家用有償旅客運送の申請が必要になるとのことで、本協議会で議題として取り上げられたほか、我々青ナンバーのタクシー事業者へ、入広瀬地域を公共交通空白地として認めてほしいとお願いに来られたこともあった。</p> <p>当時から乗合タクシーを運行していたタクシー事業者からすれば、依頼があれば大白川までもタクシーを向かわせるし、そもそも入広瀬地域は公共交通空白地ではないとの認識だったが、費用の面で、当時の乗合タクシーの1時間当たりの運行単価が約4,000円だったのに対し、その半額の2,000円でコミュニティバスは運行できるとの条件を出されたことなどから、乗合タクシーとしては一步下がり、半ば押し切られたような形で認められてきたことも事実である。しかしながら、いざコミュニティバスの運行が始まってみると、運行単価は、半額どころか乗合タクシーを上回っている。このように、虚偽の事実を重ねた更新登録申請には反対であると、今回は立場をはっきりとさせていただく。</p>
事務局	<p>前段の運行実績の報告、今ほどの更新登録申請の提案に関しても、今回改めて様々な課題が浮き彫りとなった。</p> <p>本件に関しては、これまでの経緯があったにせよ、今年度は人事異動により担当が変わり、事務局としても準備不足の面があったことは反省し、お詫び申し上げます。</p> <p>いずれにしても、ご指摘のあった点を曖昧にしたまま、説明責任を果たさずにこれ以上の議論を進めるわけにはならないので、申請期限の9月まで時間がない中ではあるが、今一度準備の機会をいただき、改めて協議の場を設けさせていただきたいと考えるがいかがか。</p>
坂西委員 (湯之谷地区自治会長連絡協議会)	<p>議論の前提部分がかみ合っていないので、その点を解消しない限り進展は難しいように思うのだが。話の発端である乗合タクシーの半額以下の運行単価でなければ、賛同できないと。</p>
小島委員 (魚沼市タクシー協会)	<p>自家用有償旅客運送以外の方法で、コミュニティバスを運行する手段はないものか。</p>
島谷委員 (新潟運輸支局)	<p>コミュニティバスの運行に関しては、国土交通省所管の法令を遵守していただくことになるが、権限移譲により、自家用有償旅客運送の申請窓口は新潟県となることを前置きさせていただく。</p>

	<p>基本的に、対価を取って運行するには所定の手続きが必要で、自家用有償旅客運送の登録がないまま運賃を徴しての運行は不可となるので、それらも踏まえて慎重に協議する必要がある。</p>
小島委員 (魚沼市タクシー協会)	<p>運行の対価を徴するには、自家用有償旅客運若しくは青ナンバー事業になるとのことだが、タクシーよりも高額な運行単価となっているコミュニティバスについて、比較検討も行わずに、継続ありきの議論には検討の余地があるのではないかと申し上げたい。</p>
事務局	<p>入広瀬地域が申請種別の公共交通空白地に該当するの可否も含めて、一度持ち帰りさせていただく。</p>
内田会長 (魚沼市長)	<p>コミュニティバスと公共交通の連携、事故への対応、今も利用されている高齢者へのフォローなど、現状あらゆる懸念を整理した上で、日時を改めて協議会を再開したいがよろしいか。</p>
青山委員 (広神連合自治会)	<p>コミュニティバス運行当初から、言葉の行き違いによるお互いの誤解があったようにも思うが、小島委員の意見は一理ある。運行単価については、乗合タクシーの半額とまでは難しくとも、より低額に抑えるような努力は必要ではないか。</p> <p>一方で、急な運行中止による市民への影響を考慮した場合、将来的な経営改善に取り組んでいく姿勢を示していただいた上で、今回は承認すべきが妥当ではないか。</p>
小島委員 (魚沼市タクシー協会)	<p>運行ルートの設定や利用者に対する声掛けなど、コミュニティバスと同様なサービスは、乗合タクシーにおいても実施できる用意がある。</p> <p>更に、乗合タクシーであれば、小出市街地への直通便など入広瀬地域外を運行することもでき、今よりサービス水準が高まる可能性もある。</p>
内田会長 (魚沼市長)	<p>では、本案については再協議とさせていただく。日程については事務局から再案内するので、その際はよろしくお願ひしたい。</p>

(4) その他

事務局	事務局としては、特に用意はない。
-----	------------------

5 その他

富永委員 (小出千溝区連合自治会)	<p>公共交通一つにしてみても、今あるサービスが無くなるということは、その場所で暮らしている人にとっては非常に困ることである。</p> <p>利用者の立場、運行事業者の立場、いろんな意見を自分のことに置き換えてみることで、見え方も違ってくるし良い経験となった。</p>
佐藤委員 (魚沼市老人クラブ連合会)	<p>コミュニティバスについては県内でも導入自治体があるので、それらの事例等についても確認した上で検討されたい。</p> <p>小島委員の意見も理解はできるし、全員の納得を得ることは難しいかもしれないが、市民にとって最善の方策を真剣に考える機会となることを期</p>

丸山代理 (新潟県小 出警察署)	<p>待するとともに、協議会のあり方としても重要な局面である。</p> <p>また、既存の交通機関、例えば路線バスの乗り方一つにしても、高齢者にとってはなかなか理解が難しい。今後ますます、生活に密接な細やかな広報展開が必要となってくるであろう。</p>
内田会長 (魚沼市長)	<p>警察の立場としては、やはり安全を最優先とした運行を心掛けていただきたい。</p> <p>本年2月、コミュニティバスで運行中の事故が発生した。幸い、大事には至らなかったが、警察としては、コミュニティバス、乗合タクシーの運行には高い関心を寄せている。</p> <p>その他、特になければ以上で終了とする。</p> <p>議事の進行についてご協力いただき、感謝申し上げます。</p> <p>進行を事務局へお返しする。</p>

6 閉 会

事務局	<p>閉会に当たり、宮腰副会長からご挨拶をいただく。</p>
宮腰委員 (長岡工業 高等専門学 校)	<p>令和3年3月に、魚沼市地域公共交通計画が策定された。</p> <p>国においても、交通政策基本法に基づく交通政策基本計画が策定され、計画に沿った交通施策が展開されているところである。</p> <p>事業の推進には、継続性が何より重要である。議論を尽くし、課題を共有しながら、改善に向けた取組が図られていくことを望む。</p> <p>今後とも、ご協力についてよろしくお願いしたい。</p>

別紙

令和4年度 第1回（第39回） 魚沼市地域公共交通協議会 出席者名簿

(敬称略)

No.	所 属	職 名	氏 名	備 考
1	魚沼市	市長	内 田 幹 夫	会長
2	東日本旅客鉄道株式会社		(欠席)	
3	南越後観光バス株式会社	乗合営業部次長	武 藤 文 昭	代理
4	魚沼市タクシー協会	会長	小 島 由 紀 子	
5	ひかり交通株式会社	業務部長	佐 藤 貴 宗	代理
6	入広瀬コミュニティ協議会	会長	浅 井 宏 一	
7	北陸地方整備局長岡国道事務所計画課	建設専門官	山 本 登 美 男	代理
8	新潟県魚沼地域振興局地域整備部計画調整担当	主査	田 中 洋	代理
9	魚沼市産業経済部建設課	課長	星 和 久	監査員
10	新潟県小出警察署	交通課長	丸 山 耕 二	代理
11	堀之内連合区長会	会長	上 村 勤	監査員
12	小出干溝区連合自治会	会長	富 永 弘	
13	湯之谷地区自治会長連絡協議会	会長	坂 西 貢	
14	広神連合自治会	会長	青 山 春 彦	
15	守門地区区長会	会長	横 山 和 俊	
16	入広瀬地域区長会	会長	浅 井 稔	
17	長岡工業高等専門学校環境都市工学科	教授	宮 腰 和 弘	副会長
18	北陸信越運輸局交通政策部交通企画課		(欠席)	
19	北陸信越運輸局新潟運輸支局	首席運輸企画専門官	島 谷 尚 之	
20	新潟県魚沼地域振興局地域振興担当	地域振興専門員	渡 辺 智 恵 子	
21	新潟県立小出高等学校		(欠席)	
22	魚沼市老人クラブ連合会	理事	佐 藤 喜 郎	
23	魚沼市自立支援協議会	会長	井 口 正 博	
24	一般社団法人日本労働組合総連合会新潟県連合会中越地域協議会	越後交通労組副委員長	斉 藤 克 根	代理
25	魚沼市市民福祉部介護福祉課	課長	茂 野 孝	